



令和2年 開所22年目のスタート

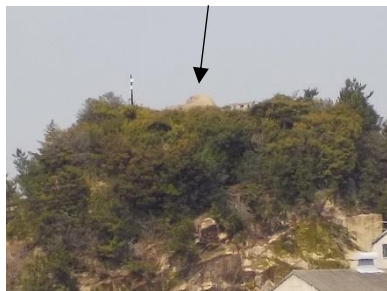
～犬島自然の家は、豊かな体験活動を通して、人としての力を育てます～

所長 今中敏夫

例年より早い桜が咲く中、犬島自然の家も令和2年度のスタートを迎えました。今年度もカヤックや釣り、星空観望などの魅力ある体験を通して、多くの方に喜んでいただけるよう準備を進めてきたところです。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響が懸念されている中、岡山市の感染拡大予防策により犬島自然の家も4月25日から5月6日まで休所することとなりました。一日も早くこの国難が収まることを願っています。

<犬島の由来について>

(犬の島の犬石様)



その昔、都で活躍していた菅原道真が瀬戸内海を通って太宰府に向かう途中、嵐にあいました。遭難しそうになった時、ふと犬の鳴き声が聞こえました。そしてそれを頼りにしてたどり着いたのがこの島でした。道真はかつて犬を大切に育てていたのです、その犬が犬石となって、道真の命を助けたのだらうと語り伝えられてい

ます。現在、この犬石は、犬島の西の犬の島の頂上に祭られています。

また、自然の家のすぐ近くには「犬島の島犬」があります。これは造形家の川埜龍三氏が作成したものです。奥行約5m、高さ約3mで、犬島のシンボルの一つとなっています。



令和2年度

4月23日

第1号

岡山市立犬島自然の家

<令和2年度 指導員紹介>

今年度は新たに4人が加わり、7人体制となりました。

今中 敏夫 (所長 新任)	厚地 倫枝 (5年目)
高島 徹 (3年目)	小橋 成人 (2年目)
田中 慎弥 (新任)	福岡 亮二 (新任)
矢野 卓 (新任)	

・・・どうぞよろしくお願ひします。

<令和2年度 主催事業>

6/13～14 (土日)	五目釣り体験	小学生～大人
7/11～12 (土日)	夏の釣り体験	小学生～大人
7/18～19 (土日)	夏の星空観望	小学生～大人
7/27 (月)	シーカヤック体験	小学4年生～大人
8/19 (水)	子ども絵画教室	小学生
9/19～20 (土日)	犬島親子キャンプ	小学生～大人
10/3～4 (土日)	犬島絵画教室	高校生～大人
10/24～25 (土日)	カニ・ハゼ釣り体験	小学生～大人
11/21～22 (土日)	秋の釣り体験	小学生～大人
12/19～20 (土日)	冬の星空観望	小学生～大人
3/13 (土)	犬島ウォーク	小学生～大人

*小学生は保護者同伴、締め切りは3週間前までです。

*定員を超えた場合は、抽選となります。詳細及び申し込みは、ホームページまたは市政だよりをご覧ください。

犬丸のあしあと

●幻日が現れました

4月7日朝、前島の上空、太陽の左側に色の分離も鮮やかな幻日(げんじつ)が現れました。気温の低い朝や夕方、薄雲があるようなとき、太陽の左右に現れます。定期船あけぼの丸から撮影しました。
(指導員 高島)





犬島といえばやっぱり釣りでしょう。

～今、犬島では、こんな魚が釣れています。～

指導員 小橋 成人

今回の「犬丸だより」は、6月13日、14日に行われる予定だった五目釣り体験の様子をお知らせする予定でしたが、悪天候のため中止となりましたので、この時期に犬島でよく釣れている魚をご紹介します。

①名前 大きさ ②釣れる場所 ③釣り方 ④えさ ⑤調理方法



←①シロギス ～30cm ②チケットセンター横の黒浜 ③投げ釣り ④青イソメ スナ虫 ⑤天ぷらが絶品



→①ベラ (キュウセン) ～35cm ②自然の家前、中ノ谷の岩場 ③投げ釣り、探り釣り ④青イソメ、えび ⑤塩焼きが絶品



←①カサゴ ～45cm ②犬島全域 (岩場) ③探り釣り、穴釣り ④青イソメ、えび ⑤煮つけが絶品

夜になるとアナゴやウキソメバル、タケノコメバルなども釣れています。釣りが好きな方、そうでない方も一度、犬島で釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

犬島を代表するイソヒヨドリを西大寺で目撃

～びっくり！磯にすむはずの鳥が河口から数kmも上流で生息～

指導員 高島 徹

5月5日、東区西大寺南一丁目にあるスーパーの屋根の上で、オスのイソヒヨドリが鳴いているのを目撃しました。

その名のとおり、犬島や宝伝港では、よく見かける鳥です。とても人なつこい鳥で、特に初夏には、オスがきれいな声で鳴く姿をしばしば目にします。

写真は、一昨年(2020年)の6月14日、犬島自然の家のカヤック小屋の屋根につがいで止まっていたのを私が撮影したもので、上がオス、下がメスです。

それにしても、海辺の鳥であるイソヒヨドリが、吉井川の河口から数kmも上流の西大寺で見かけるとは、驚きでした。

インターネットで調べると、近年、全国的にイソヒヨドリの生息場所が、内陸に広がっているようで、岡山市でも市街地での目撃記録がありました。

磯の岩場ならぬビルの谷間で、どんな暮らしをしているのでしょうか？



犬丸のあしあと ●光の水玉模様が現れました。

6月29日の昼前、「中の谷東屋」の床に光の水玉模様が現れました。東屋の天井には直径1mmほどの穴が多数あけられています。この一つ一つの穴を通過した太陽の丸い姿が、ピンホールカメラの原理で、床面に投影されたものです。 (指導員 高島)





「カヤック道」の整備をしました

～「安全に島内散策ができますように」と願いを込めて～

指導員 田中 慎弥・福岡 亮二

本来、7月11日・12日に開催を予定していた主催事業「夏の釣り体験」のようすを紹介する予定でしたが、6月13日・14日の「五目釣り体験」に続き、悪天候のため中止となりました。新型コロナウイルス対策で様々な制限のなか、いろいろ工夫しながら主催事業を企画、準備していた指導員も少しがっかりしました。

楽しみにしていた皆さん、これに懲りずにぜひ犬島に来てね(@^^)/^^

この度は、「来島者や島民の皆さんが安全に島内散策ができますように…」と願いを込めながら、キャンプ場整備員と一緒に整備した「カヤック道」(自然の家からカヤック場までの道)の階段づくりのようすを写真で紹介させていただきます。



材料運び・土堀り・杭打ちなど、たいへんな作業でしたが、これまでの滑りやすく急な坂道が、歩きやすい階段に大変身しました。



楽しい犬島散策、島めぐりを・・・ご安全に・・・!!

「夏の星空観望」 7月18日(土)・19日(日)

～感動! 地平線上に月とすべての惑星が見えました～

指導員 高島 徹

岡山商科大学附属高校の教頭の^{はた}畠先生を講師に招き、7月18日(土)・19日(日)に主催事業「夏の星空観望」を実施しました。

ちょうど3月に発見された「ネオワイズ^{すいせい}彗星」の観望の好機でしたが、18日の日没後は、くもってしまい、話題の彗星を見ることができませんでした。かわりに畠先生が前日に撮影された、みごとな尾を引くネオワイズ彗星の写真をいただき、このサプライズに参加者は大喜びでした。

翌19日午前3時20分、参加者は眠い目をこすりながら、天体観測室に全員集合しました。

天気予報はくもりのはずが、なんと頭の上には「夏の大三角」、さらに淡く天の川も見えます。

今回の主催事業の目的の1つ、月と太陽系の全惑星を見るチャンス到来です。

西に沈みかけた木星、土星からスタートし、秋に地球に接近する火星、目的の星を自動導入できる犬島自然の家の望遠鏡ならではの天王星と海王星、薄明が始まる東の空に昇る^{まゆ}眉のように細い月、そして最後に水星。流れる雲の間に見える惑星や月に望遠鏡や15cm双眼鏡を向け、みごと目的を達成しました。

朝食後は、天体講習室で畠先生から太陽系について、お話を聞きました。パソコンのシミュレーションを見せていただいたり、実際にボールを使って「太陽を直径11cmのボールにたとえると地球は直径1mmの球になります」など、具体的に、わかりやすい説明を聞いたりして、思わず身を乗り出す参加者もいました。

参加された方からは「島のゆったりとした時間が流れる感じがとてもよく、コロナ禍を忘れるようでした。」などの感想をいただきました。

※ 7月27日の主催事業「シーカヤック体験」は中止しました。



	<h1>犬丸だより</h1>	<p>令和2年度 11月2日 第4号 岡山市立犬島自然の家</p>
---	----------------	---

「子ども絵画教室」 8月19日（水）

～描けた!!思い出の1枚～

指導員 矢野 卓



8月19日(水)、今年も恒例の子ども絵画教室を行い、抽選で選ばれた27名の皆さんが参加されました。

今年は講師に元中学校の美術教諭・藤田繁子先生をお招きしました。

開講式後、藤田先生に上手に絵を描くポイントを教えていただいてから、自分の描

きたい場所を選んでいよいよ描画開始です。空と海の色を変えたり、光の当たり具合によって色を変えたり、遠近がわかるように大きさを変えたりと皆さん色々と工夫を凝らしながら絵を描いていました。

絵が完成した後、鑑賞会を開き、みんなで絵を見せ合いました。「すご〜い」「きれい」「じょうず」といった声が自然と出ていました。

最後に藤田先生から一人ひとりの絵の良いところをしっかりと褒めていただき、みんな笑顔で絵画教室を終えることができました。

猛暑の中、絵画教室に多数ご参加いただき本当にありがとうございました。



※10月3日（土）・4日（日）の主催事業「犬島絵画教室」は中止しました。

「犬島親子キャンプ」 9月19日（土）・20日（日）

～犬島を満喫した2日間～

指導員 高島 徹

親子キャンプには8家族、30名の親子が参加しました。

天候にも恵まれ、計画していたテントの設営や野外炊事（2日目の朝食：ホットドッグ、昼食：カレーライス）などの活動をほぼ予定どおり実施することができました。

初日の夕食は、キャンプ場から自然の家のグラウンドに移動してのバーベキュー。その最中に、ちょうど金甲山に夕日が沈んでいき、時間とともにどんどん変化する夕焼けの美しさに、全員が心を奪われました。

また、自由時間には、初めて出会った子どもたちどうし、お互いに声をかけ合い、みんなで仲よく遊ぶことができました。

参加者からは、「初めてで不安だったが、いろいろ丁寧に教えていただき、キャンプを楽しむことができた。」「日常の煩わしさを忘れ、ゆったりすることができた。」「犬島を満喫した。」など、うれしい感想をいただきました。



犬丸のあしあと

●金甲山に沈む中秋の名月

泊まり勤務明けの10月2日早朝、犬島自然の家から西の空を見ると、ちょうど中秋の名月が、金甲山の頂上に沈んでいくところでした。

（指導員 高島）





主催事業「カニ&ハゼ釣り体験」

～釣りで広がった親子の対話と友達の輪～

指導員 田中 慎弥

10月24日（土）～25日（日）に「カニ&ハゼ釣り体験」を開催しました。

本年も、39家族119名という多くの応募を頂きましたが、新型コロナ対策で、3密を避けるため、当選は5家族14名という大変厳しい抽選結果となりました。落選された方々には誠に申し訳ない気持ちでいっぱいです。（早くコロナが収束しますように）

さて、初日は強風で海は大荒れ。最悪の釣り日和でしたが、参加者は釣る気満々。開講式、昼食、初心者向けの釣り教室を終え、いよいよ釣り開始。ハゼをはじめ、魚が釣れるたびに親子の大歓声が上がり、とてもほほえましい光景があちらこちらに…。

また、他の参加者家族との会話も弾んでいきます。悪天候の中でしたが、各家族、ハゼ、キス、フグ等、魚が釣れた感触は得たようです。（良かった、良かった）夜釣りは荒天のため中止。急遽、星空観望を実施しました。犬島から観る星は本当に綺麗と大歓声。



2日目は、カニ釣りです。天候は回復。今日も釣る気、やる気満々です。カニさんはどこだ。サンマの切身を入れたみかん袋を岩の隙間に垂らし、カニがつかむのをひたすら待つ。待つ。岩穴を変えながら、ひたすらに待つ。しかし、誰にも当たりなし。こんなはずでは…。(指導員涙)釣りの奥深さを知らされたカニ釣り体験となりました。

けっして、満足な釣果とはいえませんでした。皆さんと過ごした時間は、大変貴重なものとなりました。きっと、皆さんも同じ気持ちだと思います。これからも、いろいろな釣りに挑戦しながら親子の対話、そして、釣り友達の輪が広がっていくことを願っています。また、犬島へ釣りにきてね～! (@^)/~待っているよ～!!

主催事業「秋の釣り体験」

～初めての釣りだけどいっぱい釣れたよ!～

指導員 小橋 成人

11月21日（土）～22日（日）に「秋の釣り体験」を開催しました。

200名近い応募者の中から、抽選で選ばれた7家族22名の皆さんが参加されました。天気は快晴。少し風はありましたが絶好の釣り日和でした。

今回の釣り体験は、「子ども体験遊びリンピック」の登録事業として行ったので、賞状と金銀銅のメダルを用意しました。種目は、大漁賞、大物賞、敢闘賞の3種目です。

今回は釣りが初めてという方もいらしたので、いつもより長めに初心者講習会の時間をとり、初めてでも楽しく釣りができるように仕掛けの作り方、餌のつけ方、竿の振り方等、指導員がついてみっちりレクチャーしました。

ベテランの方も初心者の方も金メダル目指して、時間いっぱい釣りを楽しみ、カサゴ、チヌ、タイ、キス、アコウ、ハゼ、グレ、フグ等、いろいろな種類の魚がたくさん釣れました。夜になると釣れる魚も一回りサイズアップ。20cmを超える魚がかかるとさすがに引きも強く興奮します。

この2日間の釣りを通して新しい釣り仲間ができ、親子の絆も一層深まったのではないのでしょうか。



犬丸のあしあと ●彩雲が現れました

11月30日の朝、犬島自然の家で、雲が赤や緑色に彩られて見える「彩雲」という現象が見られました。ちょっと飛ぶ鳥の姿のようにも見えませんか。

見ると縁起がよいといわれている彩雲。皆さん、よいお年をお迎えください。（指導員 高島）





餅つき

～2020年もお世話になりました～

指導員 厚地 倫枝

師走に入り、そろそろお正月準備が気になり始める12月10日、犬島自然の家で餅つきをしました。

例年であれば、いつもお世話になっている方々にお越しいただき、一緒に杵と臼を使って餅をついたり、餅を丸めたり、にぎやかな時間を過ごしていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を考えて、自然の家職員だけで餅を用意しました。いつもと勝手の違う餅つきでしたが、島民の方へ無事にお渡しすることができて一安心です。



2019年の餅つきの様子

なにかと例年どおりにいかないことばかりの一年でした。毎年、自然の家を利用してくださる団体の方がキャンセル

になったり、最初に感染拡大した5月頃には自然の家を休所したりもしました。

こうした状況の中でも、島民の方のおかげで無事に一年を終えることができました。これからも皆さんと協力していきながら、よりよい施設運営を心がけていきたいと思います。



「冬の星空観望」12月19日（土）・20日（日）

～感動！ 木星と土星が望遠鏡で同一視野内に見えました～

指導員 高島 徹

岡山商科大学附属高校教頭の畠先生を講師に招いて、主催事業「冬の星空観望」を実施しました。

開講式の後、早速、木星と土星が望遠鏡の同一視野内に接近して見えるようすを観察しました。

土星の輪やガリレオ・ガリレイが発見した木星の4つの衛星も望遠鏡で確認することができました。

右の写真は、厚地指導員が、20cm望遠鏡の接眼部にスマートフォンのカメラレンズを近づけて撮影したものです。



この日は、少し寒かったものの、月明かりがあっても天の川が見えるほどの好天に恵まれ、上弦の月、10月に地球に接近した火星、おうし座のすばる、オリオン座の大星雲などを自然の家自慢の望遠鏡や大型双眼鏡で楽しむことができました。

2日目は、望遠鏡で昼間の金星を見たり、特殊なフィルターを通して太陽を観察したりしたあと、最後にまとめとして、畠先生からパソコンやモデルを使いながらのお話がありました。今度、木星と土星が今回ほど接近して見えるのは、60年後だそうです。

参加者からは、「平素見ることができないような大きな望遠鏡で、とてもレアな現象を生で見るという貴重な体験ができ、感動しました。」「月のクレーターの詳細な部分まで見ることができました。」などの感想をいただきました。





主催事業「犬島ウォーク」

～犬島の魅力を実感していただきました～

所長 今中敏夫

3月13日(土)、今年度最後の主催事業「犬島ウォーク」を実施しました。前日からの雨に加え当日は強風ということで実施が危ぶまれましたが、無事に終えることができました。当日は一般の参加者だけでなく山南学区の先生も加わり、約50人での活動となりました。



第1部は講師として在本桂子さんにお越しいただき「犬島物語～犬島の歴史と文化」というタイトルでお話をしてもらいました。1万年以上前の貝塚の発見、菅原道真公と天満宮、犬島石、精錬所などの産業の変遷や芸術作品など、様々な角度から犬島の移り変わりや文化的なすばらしさを語っていただきました。

参加者からは「わかりやすくとても勉強になった」「子どもたちにも是非聞かせたい」などの感想がたくさん出ました。

そして第2部はグループに分かれて散策を楽しみました。1時間半という短い時間でしたが、天満宮や定紋石などの歴史的な文化財はもちろん、アート作品や自然の美しさなど、犬島の魅力をたっぷり味わっていただきました。

<参加者の感想>

- ・海がとてもきれいだった。古い建物や採石後の池など、とても興味深かった。
- ・初めて犬島に来ましたが、とてもよい所なのでまた訪れてのんびり散策してみたいです。



1年間をふりかえって

今年度、犬島自然の家も新型コロナの大きな影響を受けた1年でした。ゴールデンウィークを含む5月は閉所となりました。しかし、夏休みを中心にお客さんが増え、カヤックやストーンクラフトを楽しんでいる様子に喜びを感じました。

主催事業でも充実した活動ができました。夏休みの子ども絵画教室や9月の親子キャンプでは、子どもたちが互いに仲良くなり、元気に遊ぶ姿が印象的でした。

天体望遠鏡の利用には制限がありましたが、夏冬とも工夫して星空観望を実施しました。冬は大変寒い日となりましたが、木星と土星を同じ視野で観察することもでき、お客さんに喜んでいただきました。

カニハゼ釣りや秋の釣り体験では、子どもだけでなく大人からも、楽しかったという感想を聞くことができました。秋の釣り体験ではメダルや賞状も用意し、釣った魚の大きさや数ごとに表彰しました。メダルをもらった子どもの笑顔が輝いていました。



そして、今年度の特徴的なことは、小規模校が学校行事として利用してくれたことです。来年度も利用が見込まれます。こうした動きに私達もうまく対応できるよう、日応寺の少年自然の家に行って研修をし、準備を進めているところです。



令和2年度のご理解とご協力をありがとうございました。令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします。

犬丸のあしあと

●ボラの大群が現れました。

1月15日の朝、宝伝港におびただしい数のボラの群れが現れていて、とても驚きました。

今年2月には、兵庫県や東京都でも同様の現象が見られたそうです。
(指導員 高島)

